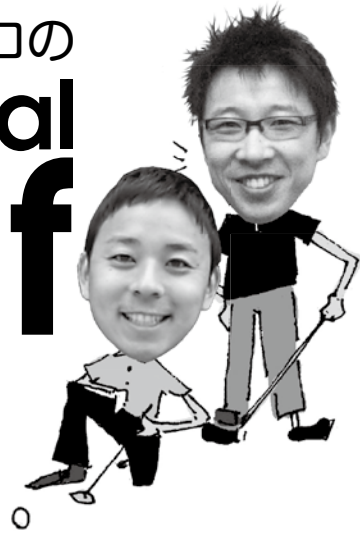


# Dr.高田、宮崎プロの Functional Golf



して注射薬手術といった処置をするのがお仕事になります。しかし我々PTの場合、患者さんの膝が痛いという時に「なぜ膝に負担がかかっているのか」を診るのが主な仕事になります。

M：おお！なんか違いますね！！

T：膝を例にあげて言うと、膝というのはいきなり痛くなったりすることはまずありません。何かしら膝に負担がかかる原因があり、その負担の蓄積の結果として膝の組織の



宮崎プロのレッスン風景

損傷に繋がるわけです。この何らかの負担がどこから起きているのか、なぜ起きているのかを診断し治療していくのが私の仕事です。

M：ふーん、じゃあ取り組み方が全然違うんですか？

T：はい。例えば膝痛の患者さんに首の治療をしたり、骨盤や足の治療をすることによって膝の負担を軽減し、その痛みを取り除いたりします。

宮崎プロ(以後M)：よろしくお願ひします。早速ですが、先生に素朴な質問があるので何っても良いですか？  
そもそもPTとはどういうことをしてくれる人なのでしょう？整形外科の先生とは違うの？



高田先生の施術風景

M：なるほど。僕は生徒さんのゴルフスイングのフォームを一緒に変えてしまうことが得意です。その時に、フォームの問題箇所ではないところを直し、結果的にスイング全体をよ

り良いものに導いていくことがよくあります。それとちよっと近いのかな？  
T：そうですね。どうしても一カ所だけにとらわれてしまうと身体全体の動きを見落してしまうことがなってしまう。私の治療方針は身体にかかっている負荷をいかに取り除いてあげることになります。そして効率的な身体の動きに導き、その結果、問題箇所の痛みが無くなるようにするわけです。

フにおける飛ばしの要素を科学的に正当性をもって特定。飛ばしの要素を効率よくスイングに組み込むことで、初心者からプロまでの飛距離アップを実践。短期間でクライアントのスイング、飛距離、スコアを改善することを得意とする。  
日本のゴルフフィットネスジムNo.1であるTotal Golf Fitnessでツアープロトレーナー対象としたゴルフスイング・動作分析研修を実施。関東から関西までの様々なゴルフアカデミー・JPGA・JLPGAのティーチングプロを対象により効率の良いゴルフレッスンの指導法の講習会を行った経験を持つ。

Y市立六大学院でExercise Science & Rehabilitationを専攻し、より効率的に新しい身体の動きを習得するためにMotor Learning (運動学習)の分野を研究。バイオメカニクスにも精通しているためゴルフ

## Biography 高田洋平



DPT, CFMT, OCS, SCS, CSCS  
ゴルフを中心としたスポーツリハビリを学ぶため、渡米。コロンビア大学でDoctor of Physical Therapy (理学療法学・博士号)を取得。コロンビア大学病院、Montefiore Medical Centerで外来リハビリを担当。現在、Func-Phsyotherapyのオーナー。ゴルフリハビリの資格 / TPI (Titleist Performance Institute) Medical Profession-Level III  
連絡先 yt@funcphysio.com  
TEL (347)497-0500

## Biography 宮崎 太輝



NY出身のゴルフインストラクター。日本で過ごした学生時代、テキサスのハンクヘイニーゴルフフランチにて当時世界最先端のスイング理論を学び、渡米を決意。NY市立六大学院でExercise Science & Rehabilitationを専攻し、より効率的に新しい身体の動きを習得するためにMotor Learning (運動学習)の分野を研究。バイオメカニクスにも精通しているためゴルフ